

6月11日 名古屋港管理組合議会 山口清明議員

金城ふ頭開発で物流と観光が交叉・混乱しないか

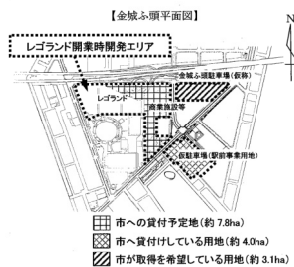
名古屋港管理組合議会の6月定例会が6月11日に行われ、山口清明議員が米軍艦の入港、金城ふ頭開発や旧イタリア村跡地の問題などで一般質問しました。

米軍艦の入港はやめさせよ

5月に米軍掃海艦が入港しましたが、親善訪問と言いながら24時間前にしか入港が明らかにされません。山口議員は「あまりにも卑屈な対米従属の象徴だ。米軍には何でもイエスというのか」と追及。管理者（河村市長）は「集团的自衛権の行使もできない国になっているので、アメリカに何でもかんでも言うということにはならないと思う。慎重に調べる」と答弁。山口議員は「小樽港などではもっとオープンになっている」ときっぱりとした対応を求めました。

港湾機能は二の次でレゴランド優先

金城ふ頭にレゴランドが進出し、名古屋市は隣接地に巨大立体駐車場を建設します。名港管理組合はレゴランドの土地を市に貸与、駐車場用地は市に売却します。山口議員は「周辺には物流機能がそのまま残り、大型トレーラーが行きかう物流と一般観光が交叉して混乱が生じないのか。また周辺岸壁はソーラス条約で嚴重警備下にあるが観光に支障が出るのではないかと」ただしました。当局は「観光と物流は両立する。万全な安全対策はイメージアップになる」と答えました。山口議員は「認識が甘い」と指摘しました。



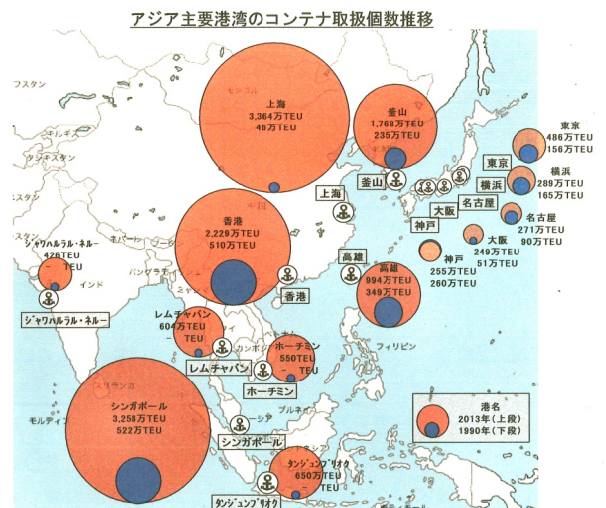
山口議員は議会前に、旧イタリア村の閉鎖以来はじめて旧4号倉庫を視察した結果を紹介。「兵どもの夢の跡、といった風情を写真にして見せたかったが、室内の撮影は禁止と言われ、できません。企業と折衝中といえど何でも非公開にできるのか」とただし、管理者は「いっぺん見に行く」と答えました。



山口議員と管理者（河村市長）

国際コンテナ戦略港湾政策は破たん

「選択と集中」で東西二港を特別扱いする国策は破たんしています。山口議員は「名古屋港を含む各地の重要な港湾それぞれにみあった整備を行うよう港湾政策の抜本的転換を国に対して求めるべきではないか」とただし、「東西港で基幹航路の取扱量が伸びない原因は日本の内需の低迷、大企業の海外生産推進による産業空洞化の進行。大水深バースの建設や集貨事業にいくら巨額の税金をつぎ込んでも基幹航路の維持ができる保証はない。」と指摘しました。



イタリア村撤退後のフロアの様子は秘密

旧イタリア村の維持管理費は年間約600万円です。



閉鎖されたイタリア村。運河も埋め立てられています。

2014年6月名港議会定例会の主な議案の結果概要

議案名	名古屋市会選出					県議会選出				結果	備考	
	共	自	民	公	減	自	公	民	日			
土地の交換	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	金城ふ頭の土地を市営駐車場をつくる名古屋市に売り、トラックターミナルに整備中の飛鳥ふ頭の土地を購入(交換)。
議員派遣	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	・議員の海外視察(香港港、啓徳クルーズ。9月1日～3日)に反対 ・その他、議長のアントワープ港視察(10月下旬9日間)、副議長のゼーブルージュ港視察(11月7日間)、議員の函館港や苫小牧港の視察(7月30日～8月1日)など

○=賛成 ●=反対 / 共: 日本共産党 自: 自民党 民: 民主党 公: 公明党 減: 減税日本 日: 日本一愛知の会 政: 民政クラブ